



寺報の名前はもうちょっとだけだけ！

はくがんさん

白巖山 法住寺 発行

〒410-2501

静岡県伊豆市下白岩 5 6 3

☎0558-83-0320 FAX0558-83-0391

<http://juryo.jp/>

令和6年春（第4号）



法住寺LINE開設しました！ 登録よろしくおねがいします



「自燈明・法燈明」
人生の主役は自分
自分の事は自分で決める

今年の星祭も沢山の皆様と共に、仏天に感謝申し上げ、お喜び頂きたく同じ方向を向き厳修、そして祈願出来ましたこと改めて感謝申し上げます。毎年星祭にお詣り下さる横浜の信者さんがいらっしやいます。今年でなんと百歳になるお婆ちゃんなのですが、実は昨年大腿骨を骨折し手術をされたのです。当然、今年はそのお婆ちゃんはいらっしゃれないだろうと残念に思っていたのですが、星祭の数日前にご家族から「本人がどうしても行きたいと言っているので連れていきます。」と嬉しい連絡がありました。当日の朝、本当に大丈夫かな？そう思いながら準備をしていると、車イスと杖を使いながら玄関に笑顔のお婆ちゃんが。何だかとても元気を頂きました。

お釈迦さまが亡くなる前、ある弟子がこんなことを聞きます。「お釈迦さまが亡くなってしまったら、私たちは誰を燈火として頼って生きていったら良いのでしょうか？」するとお釈迦さまは「それは誰でもなく、自身自身を燈火としなさい。そして、その自分を輝かせる為に、法華経という正しい教え、正しい思い・善き行いという正しい法を燈火としなさい」と。



実はそのお婆ちゃん、大腿骨骨折の手術の後、医師にご家族と呼ばれてこう告げられたそうです。「お歳も大変高齢という事もあり寝たきりになるかもしれない。ご家族もそう思うかもしれません」と。当然私も普通に通に考えた方が良いでしょう」と。しかし本人は違っていました。ずっと黙って医師の話を聞いていたお婆ちゃんは「先生、勝手に決めないで下さいね。私の体ですからね。」と言われたのです。そしてリハビリに励み、当日大好きな仏さま、日蓮大聖人、鬼子母尊神はじめとする守護の善神にお会いにいらっしやったのです。

これぞ自燈明。やはり人生の主役は自分である。人に言われてではなく自分で決める。人が自分を輝かせてくれるのを待っているのではなく、自分で輝く。自分で自分の人生の道を照らす。決して自分勝手にならない様に、正しい判断が出来るように、法燈明という正しい思い、善き行いをもつて自ら輝くのです。お蔭さまを頂き、手を差し伸べてもらったら「ありがとう」と笑顔で感謝をする、これが自らを輝かせる法燈明。同じことをするでも、やらされているという受け身ではなく、能動的に自らの意思で行う、これが自燈明です。境内の木々や花々も徐々に花を咲かせてきました。大自然も自燈明。お婆ちゃんのお姿から大切な教えを頂きました。有難うございます。

三年ぶりに寺子屋道場開催

八月、三年ぶりの寺子屋道場を開催。山内の大木に自力で登るツリークライミング、境内では自分たちで考えた遊びで大ハシャギ。元気な御題目・太鼓・沢山の笑い声が響きました。



山下要さんご夫妻からの
美味しいスイカのご供養



白龍會の万灯奉納



子供たちの献花



賑やかで愉快な一時

日蓮聖人第七四二遠忌 御会式を厳修致しました。白龍會の万灯奉納、子供たちの献花、護持会総会の後には参列者全員で日蓮聖人へ感謝の祝杯を挙げました。新米・野菜・清酒等、沢山の奉納を頂き、前日は総代・清水下班役員の奥様が献餅とお団子作り、当日は清水下班の女性陣の美味しい手作り料理を頂きながら賑やかに愉快な一時は最高の時間でした。最後に白龍會の小塚順一會長の一本締めにて今年の御会式を無事に終えることが出来ました。

御会式奉納 愉快に楽しく最後は皆で一本締

法住寺開山の際、中心となって下さった開基檀越です。



伊東修前会長・ミナヨ奥様

法住寺護持会の任期は三年間。前護持会會長の伊東修さんには約四半世紀に渡る二十四年の長き間、総代八期そのうちの二期六年間を護持會長としてお勤め頂きました。御会式の際に日蓮宗のトップである官長から、その功績が表彰されました。また會長と法住寺・寺族を愉快に笑顔で力強く支えて下さった奥様のミナヨさん・そして伊東家のご家族に心より感謝を申し上げます。伊東家は五二〇年前、

前護持會長 伊東修さん 日蓮宗官長表彰受賞

檀家さんの手記が新聞に掲載！

いつもお寺を気にかけて下さる檀家さんの手記が伊豆日日新聞に掲載されました。本人のお名前を出したかったのですが、照れながら「恥ずかしいからヤダよう」とのことでしたのでお名前は出さずに紹介します。

受けた親切は親切で返す

今年の四月はじめてのことでした。子どもをのせて伊豆の国市の順天堂大学静岡病院へ行きました。雨が降っていて玄関の係の人が親切に、車椅子に乗せてくれました。

私は急いで車を駐車場に置きに行き、やっと診察が終わり、車を取りに行きました。エレベーターの入りの精算機で料金を確認すると250円と表示されたので、500円玉を入れるとチャランと戻って来てしまいました。「あれ？」と思います今度は千円札を入れたらまた戻って来ました。

なぜだろうと、まごついていたら、知らない男の人が200円を入れて「50円いれな」と言ってくれたので50円を入れたら券が出てきました。どう返したらいいやらと思いつつ何もせず、何でその時500円玉を渡さなかったのかと後悔していました。

4月の半ば、家のお寺の住職さんが新し

くなり、いろいろと書いた文章の中に「人に親切にしてもらったことは、また自分も親切で返せばよい！」ありました。「あー、そうかな」と思いました。

6月にまた病院へ行きました。途中でお金を下ろせなかったので、車椅子を押したまま院内のATMに行くと「ブーブー」と音がしました。何だろうと思って見ると、お札が入ったままでした。前の人が取忘れたようなので、そっちへ行った人に大声で「あの、あの」と呼び、「お金が入ってますよ」と言うと、何も言わずに持っていきました。

＊伊豆日日新聞掲載

ご本人は「新聞に載せてもらうことで、あの時お礼を言えなかった男性が見ていてくれたらいいな」と笑顔で話してくれました。

年末の大掃除し隊 募集

十二月十七日（日）午前九時～お昼まで



毎年年末に仏天とご先祖さまに一年間の感謝を込めて、本堂大掃除を有志にて行っています。位牌堂では皆さんのご先祖さまの位牌を全て壇から降ろして丁寧に磨かせて頂きます。お昼には有志の松本之雄・由紀ご夫妻が最高の法住寺手打ち蕎麦をご用意下さいます。ぜひご堪能あれ！準備の都合上、ご参加頂ける方はご連絡下さい。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

雄・由紀ご夫妻が最高の法住寺手打ち蕎麦をご用意下さいます。ぜひご堪能あれ！準備の都合上、ご参加頂ける方はご連絡下さい。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

水行始まる！男女問わず行者募集

十一月一日より来年の二月十日まで日蓮宗大荒行堂では一〇〇日間の荒行開催されています。その一〇〇日間の荒行期間に合わせ、法住寺では毎日水行を行っております。

●水神さまの法水で
日々・一年間の

身と心の垢を水に流して頂く

●水神さまの法水は

心を豊かにしてくれる豊水

●水神さまの法水は

地から湧く水 力湧く力水



水神さまは浄行龍王水神明王といわれています。よく「水に流す」という言葉を聞いたことがあると思います。水神さまの法水にはその力があります。昨年は、年末大晦日水行以外にも、お一人さま、団体、会社、友達グループで五十人ほどの方が水行をされました。今年も期間中はいつでも受け付けています。希望の方は、いつでもご連絡下さい。共に精進致しますよう。



ご志納金 「七月〜十月」

相模原	三田	満	殿	墓地移転の砌
西	佐藤	薫	殿	尊母葬儀の砌
相模原	川田	和幸	殿	尊母永代供養の砌
修善寺	小野家	殿	尊母永代供養の砌	
西	佐藤	敦	殿	尊母葬儀の砌
元村	手老英子	殿	飯田家葬儀の砌	
清水	土屋正次	殿	尊母十三回忌の砌	
元村	伊東由廣	殿	尊父十七回忌の砌	
伊豆の国市	田中慶子	殿	齋藤家葬儀の砌	
元村	山下	要	殿	尊父十七回忌
				尊母十三回忌の砌
沼津市	故瓜島宏子	殿	葬儀の砌	
伊豆市	山田由治	殿	愛妻永代供養の砌	
大京	松本之雄	殿	尊母葬儀の砌	

ご志納

伊豆市 篤志者

特製金丸台一基
尊母追善供養の砌

● 月詣りと 月守り

私たちの両肩には
【健康を司る同生天、経済・財力を司る同明名天】俱生靈神
という御守護神が宿っています。お母さんのお腹に命を宿し
た時から御守護下さっています。一人一人個別に俱生靈神が
いらっしやるのです。月守りは、個々のお守
りとして毎月一日に入魂開眼の御祈禱と願主
の祈願を行います。祈願会や月詣りで交換す
るのですが、来れない方には郵送してます。
ご希望の方はお申しつけ下さい。



花は野にあるように

～めくる季節の中で～



山百合



野菊



白山吹・紫蘭



あしずり野路菊



犬ジヨウマ・白秋明菊



サラシナシヨウマ



毎月お詣りをされる信者さんが、昌子さんの活ける野の花を楽し
みにして下さっています。お詣り毎に写真を撮り、昨年からのそ
の写真をLINEアルバムに送って下さいます。いつの日か、
写真集にでも出来たらいいななんて思っています。
百の説法より野の花一輪。

毎日、境内の至る所で教を説いてくれています。